

2 保護者アンケート結果・考察

*文章中に出てくるパーセンテージの数値は「はい」「どちらかといえばはい」の肯定的な回答の合計値です。

*一昨年度⇒昨年度⇒本年度【児童】の数値です。(調査対象 176名)

(1) 朝食を毎日食べている 98.9 ⇒ 97.7 ⇒ 96.0 % 【96.0 ⇒ 91.7 ⇒ 97.1】

(2) あいさつができています 94.6 ⇒ 92.4 ⇒ 94.4 % 【92.9 ⇒ 92.3 ⇒ 92.9】

(3) 学校の決まりを守っている 96.7 ⇒ 97.6 ⇒ 98.3 % 【92.1 ⇒ 93.9 ⇒ 92.4】

(7) 家で学校の宿題をしている 89.6 ⇒ 87.1 ⇒ 85.8 % 【95.5 ⇒ 87.8 ⇒ 90.6】

基本的な生活習慣に関する項目では、ほぼ9割の保護者が肯定的な回答をしている。児童の回答の割合ともほぼ同割合である。家庭での躾や指導に配慮頂いていると考えられる。朝食についてもほとんどの家庭が食べさせるように心がけてくださっている。今後とも学校と家庭が連携して、100%に近づけていきたい。

(4) 家で学校の出来事について話をする 87.0 ⇒ 89.5 ⇒ 89.8 % 【80.8 ⇒ 81.2 ⇒ 79.5】

保護者は、約9割が学校の出来事について話していると答えており、これからも家庭での積極的な声かけをお願いしたい。約2割の児童が話せていないと感じているので、保護者からの声かけで、学校での様子について話す機会を作ってもらえればと思う。

また、学校での児童の様子や学校行事については、学校ホームページを随時更新し学校側からできる限り伝えるように心がけている。今後も積極的な教育活動を行っていききたい。

(9) 学校に行くのは楽しいと言っている 88.1 ⇒ 85.4 ⇒ 85.3 % 【85.5 ⇒ 81.2 ⇒ 81.3】

肯定的な意見が約9割だが、「楽しくない」と感じている児童、そう聞いている保護者が年々少しずつ増えている。引き続き保護者には、学校で十分に聞き取れていない児童の気持ちにより添い、家庭での子供との会話に努めていただくように啓発し、細やかな情報交換ができるようにしていきたい。

(8) よく読書をする 38.6 ⇒ 32.3 ⇒ 32.8 % 【69.3 ⇒ 70.7 ⇒ 69.6】

児童の読書離れを保護者もほぼ認識できている。読書は学力向上にもつながる。保護者の協力を得ながら読書の意識を高めていきたい。

社会状況の変化とともに家庭でのメディア使用も増え、読書の時間は減少しているが、デジタルにおける活字を読む時間は増えていると考えられる。今までのように、ペーパーによる活字だけを読書ととらえる読書から幅広い読書という考え方の移行も必要ではないかと考えられる。

(5) 失敗を恐れずに挑戦している 70.5 ⇒ 74.3 ⇒ 68.7 % 【80.7 ⇒ 84.5 ⇒ 82.5】

自尊感情や自己有用感に関連する項目である。児童は約8割が肯定的に答えているものの保護者は約7割にとどまっている。

自分の能力や可能性にチャレンジする機会や、自分に自信が持てるものが見つけられる活動や体験を増やしていけるよう今後も計画を進めていきたい。

(6) 自分にはよいところがあると言っている

84.8 ⇒ 88.4 ⇒ 84.2 % 【90.4 ⇒ 90.1 ⇒ 87.7】

(10) 友達の話や意見を最後まで聞くことができる

86.4 ⇒ 86.0 ⇒ 87.6 % 【90.5 ⇒ 91.7 ⇒ 93.6】

(11) 友達と話し合いができている 88.6 ⇒ 90.6 ⇒ 92.0 % 【85.5 ⇒ 86.2 ⇒ 88.3】

(12) 友達の前で自分の考えを伝えることができる

82.0 ⇒ 79.0 ⇒ 80.1 % 【71.8 ⇒ 79.0 ⇒ 75.4】

(13) 学級で協力できている 95.6 ⇒ 95.3 ⇒ 94.3 % 【81.4 ⇒ 81.2 ⇒ 91.8】

どの項目の結果も、保護者の方が子供たちを大切に見守り児童理解に努めていることが感じられ、保護者の方と児童の意識の割合が近くなっている。

学校ではポジティブな行動支援の考え方を学校経営方針の重点目標におき、自尊感情を高め、個性を発揮できるように努めている。児童の望ましい行動を認め称賛することにより、児童に自信を持たせ、よりよい行動へと導けるよう支援している。今後も児童が達成感を感じ、より望ましい行動へと意欲的に取り組んでいけるよう支援を続けていきたい。

また、学校での生活や活動の様子を保護者の方々に伝えられるよう、学校ホームページへの掲載や授業参観などを今後も取り組んでいきたい。

(14) 学校はきれいで落ち着いた環境作りに努めている 92.4 ⇒ 93.6 ⇒ 91.5 %

(15) 学校は子どもの良さや気持ちを理解してくれている 90.3 ⇒ 88.9 ⇒ 88.7 %

(16) 学校は保護者の願いを受け止めようと努力している 91.2 ⇒ 94.7 ⇒ 89.8 %

(17) 学校はいじめ問題に積極的に取り組んでいる 89.5 ⇒ 90.1 ⇒ 88.1 %

(18) 学校は子どもの人権を尊重する姿勢で指導している 93.4 ⇒ 95.4 ⇒ 93.2 %

学校の取組に対して、どの項目も9割前後の保護者が肯定的にとらえてくれていることがわかる。この状況を継続できるよう今後も取り組んでいきたい。

ただ今年度はどの項目においても低下傾向にある。特に、児童や保護者の気持ちの理解については、学校の取組が十分ではないと感じている保護者の方もいる。

「(9) 学校に行くのは楽しいと言っている」の項目で年々「楽しくない」児童やそう感じている保護者が増えていることとの関連性も考えられる。そんな保護者の方の声がきけるように、気軽に相談していただけるように、児童、保護者の気持ちに寄り添いながら、全ての保護者から信頼される学校となるよう全教職員で更なる努力を続けたい。